

一般質問

9月21日
9月22日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、12月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。

渡辺よしてる

(民主クラブ)



コロナ禍での妊婦支援を問う

【質問】妊婦が新型コロナウイルスに感染した場合の支援について、妊婦面接の際にどのように案内しているか。
【区長】保健所からの連絡方法、療養時や育児などの支援、相談先を案内している。今後もSNSを活用した周知を含め、情報提供に努める。

ジェンダーギャップの解消を

【質問】ライフステージに応じたジェンダー平等の啓発が必要不可欠と考える。区の現状と今後の課題解決の方向性を伺う。
【区長】元年の区の調査では、家事・育児に携わる一日あたりの平均時間は、男性の大半が女性を大きく下回っている。幼少期の早い段階から啓発を行うことが重要と考え、3年度からライフステージに応じた啓発ツールの作成を進めていく。

母子健康手帳アプリの導入を

【質問】父親の育児参加を促すため、母子健康手帳の記

オンライン授業について問う

【質問】入院中や施設に一時保護中の児童・生徒へ、オンライン授業の案内をすべき。
【教育長】教育機会確保のため、案内作成や他部署との連携など、柔軟な対応に努める。
【質問】オンラインを活用した留学体験など、子どもたちがグローバルな視点を持つことができる取組みの実施を。



井上 温子

(無所属の会)



インクルーシブ施策を問う

【質問】区は、インクルーシブや共生といった言葉を多用するが、どのような環境を指しているのか明確になっていない。包摂・包容された教育や就労を選択できる地域社会を本当にめざしているのか。
【区長】障がい者がその能力や適性を活かし、健常者と同じ環境の中で統合され、包



中妻じょうた

(民主クラブ)



自宅療養者のサポート強化を

【質問】自宅療養中の新型コロナウイルス感染者患者に対する往診やオンライン診療を充実させ、サポートを強化すべき。
【区長】3年9月から医療サポート事業を開始した。医療機関が自宅療養者を継続的に診て、相談や症状の変化に迅速に対応し医療を提供することができると考え、重症化の予防にも有効と考える。

児童発達支援センターへの送迎の拡充を

【質問】自宅からだけでなく、学校・保育園・幼稚園からの送迎を実施すべき。
【区長】今後、ニーズの把握や実施体制、財源の確保など、課題の整理を進めていく。

欠席届オンライン化の実施を

【質問】早急に全校で実施することを求めるが、見解は。
【教育長】技術的支援が必要



避難行動要支援者への支援を

【質問】個別避難計画の作成を支援する「地域避難コンシェルジュ」の設置を提案するが、見解は。
【区長】今後、事業者や地域の支援団体との協議を進めていく中で、計画作成の進め方や専門性のある事業者の活用などについて検討していく。

摂・包容されたインクルーシブな社会をめざしていく。
重層的支援体制整備を問う

【質問】障がい者施策における制度の狭間に落ちている方に対し、どのようなサポートが必要と考えるか。
【区長】障がい者手帳を申請していない方や大人の発達障がいなど、支援が届きにくい方の存在は認識。包括的支援体制を構築するに当たり、関係機関と協議し検討する。※以上のほか、新型コロナウイルス、通学路について質問があった

内田けんいちろう

(自民党)



交通安全対策を問う

【質問】シェアサイクルの実証実験を通して、蓄積されたデータを活用すべき。
【区長】学識経験者などの知見や提言を得ながら、交通安全施設の整備や自転車利用の安全意識向上に活用する。
【質問】信号機がない横断歩道の安全対策として、可搬型のハンブを使用し、実証実験を行い、その結果を活用して安全対策を行うべき。
【区長】区内の時速30km制限の道路の多くは、歩道がないため、ハンブを設置した場合は、歩行者がつかずなどの課題がある。交通管理者から信号機の代替として要請があれば、協力して検討する。

区内中小企業支援策を問う

【質問】「いたばし働きがいのある会社賞」のリニューアルにあたっては、地元で経営している期間が長い点を評価基準として。
【区長】SDGsや将来性を評価する視点を取り入れていく予定。長年にわたる実績についても評価項目の要素とすることを検討していく。
【質問】いたばし産業見本市について、2年度のオンライン開催の評価とアーカイブの公開についての見解は。
【区長】時間や場所を問わず閲覧が可能な成果があった一方、登録をしないと閲覧ができないなどの課題が

コロナ禍における修学旅行の実施を問う

【質問】修学旅行は子どもにとって貴重な学習機会であり、可能な限り実施すべき。
【教育長】区が求める感染症防止対策を民間宿泊施設に示して対応をお願いしている。実施が難しい場合でも代替行事について検討するよう指示している。

パラリンピックの影響を問う

【質問】パラリンピックの開催は、障がいを理由とする差別の禁止や社会的障壁の除去による権利擁護の促進に資する内容と考えるが、見解は。
【区長】多くの人のパラスポーツや障がいのある方への理解が深まり、障がい者差別の解消や権利擁護の促進に寄与するものと考えられる。



中村とらあき

(自民党)



児童相談所設置に伴う児童養護施設との連携を問う

【質問】クラウドファンディングによる支援と、18歳を迎えた後の進路などについて、現在の状況と今後の進め方は。
【区長】「住まい応援プロジェクト」で家賃などを助成しているほか、退所児童の自立支援の強化について、児童養護施設と意見交換している。引き続き施設と連携し、退所前の17歳時点で方向性を決定できる支援体制を構築する。
スマートウェルネス住宅事業の推進を求め

コロナ禍における教育について問う

【質問】夏季休業中の児童・生徒の生活状況を把握し、今後の指導に生かすべき。
【教育長】夏季休業明けに教員による丁寧な観察や個人面談などをもとに一人ひとりの様子を把握し、すべての児童・生徒に対する個別の支援などに生かしていく。
【質問】ワクチン接種が難しい体質の人がいることや様々な理由で登校を避けるべき事情を持つ人がいることを児童・生徒に理解させ、差別や偏見をなくす取組みを求めると、見解は。
【教育長】今後も児童・生徒が感染症を正しく理解し、感染に対する不安から陥りやすい偏見や差別などについて考え、適切な行動がとれるよう指導を継続していく。

地域課題について問う

【質問】国が実施する「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」のうち「住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業」の活用推進のため、各所管との連携が必要不可欠と考えるが、見解は。
【区長】住宅部門のみならず、健康・福祉部門のほか、外部の関係者とも連携して、引き続き研究していく。

【質問】災害時の区の防災連絡機能の補完として、地域

災害対策として、アマチュア無線局との連携を

【質問】災害時の区の防災連絡機能の補完として、地域